

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てる前に電源を入れないでください。
- 照明器具の取付け及び修理は、必ず電気工事店等の専門家にご依頼ください。

注意

照明器具を箱から取り出す際に、ペーパーシェードを傷つけないよう十分気をつけてください。本体を止めているストッパーを取り除き、本体を取り出してください。

組み立て終わるまで電源に接続しないでください。

Ysmen

デザイン：Dagmer Mombach
Ingo Maurer and team

光源：ローボルトハロゲン球 12V-50W (GY6.35)
トランス：調光器付電子トランス

インゴマウラー 日本総代理店

StudioNOI
スタジオノイ株式会社

東京都港区南青山3-10-7
青山ホワイトテラス 〒107-0062
Tel.03-3401-4826 Fax.03-5775-1675
www.studio-noi.com



Ysmen

The MaMo Nouchies® Instructions

Ingo Maurer

＜ペーパーシェードについて＞

器具の和紙は天然の素材で作られたもので、まれに見られる表面のキズは、製造過程で生じたものです。ペーパーシェードは、伝統的な日本の織物の染色法に基づき(最高8段階の処理工程を要する)、その加工法は特許を取得しています。一見同じに見えても、実際にはひとつひとつ微妙に異なっています。

ペーパーを美しく保つには、次のような点にご注意ください。

- 湿気のある所での使用は避けてください。浴室、台所、その他湿気のある室内では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や乾燥しすぎる場所での使用は避けてください。
- ペーパーシェードは傷つきやすいですが、必要があればそっと引っ張り伸ばすことができます(図①)。ペーパーを伸ばしすぎないでください。伸縮性が失われ、元の形に戻すことができなくなります。
- 「誤った」方向(折り目と反対の方向)にペーパーを折りたたまないようにしてください。繊維をいためることになります(図②)。

場合によっては、シェードが理想的な形になるまでしばらく時間がかかることがあります。表面に触れるとへこみがでることがありますが、裏側から指でそっと押すと、へこみが消えて元通りになります。

＜電球の取り付け＞

⚠ 注意

電球やガラス・リフレクターの内側表面を素手で触れないようにしてください。ガラス・リフレクターの付いていないランプは、火災の危険性がありますので使用することはできません。

ガラス・リフレクターの下にある段ボールの紙片を取り除きます。ペーパーを開き、ワイヤーケージの中のソケットをしっかりと持ち、電球を取り付けます(図③)。

＜ペーパーシェードの調整＞

ペーパーシェードはランプの周りに巻き付けられています。図④のように形を調整してください。

⚠ 重要

常にペーパーシェードが所定の位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。シェードがソケットや電球に決して触れないようにしてください。

＜トランスへの接続＞

2本のコネクターをトランスに差し込みます。コネクターが正しく接続されていることを確認してください。

＜電球の交換＞

⚠ 注意

電源を切り、完全に器具が冷めてから行ってください。電球は素手で触れないようにしてください。

電球を取り外す際にガラス・リフレクター(マウラー社オリジナル)と一緒に外れる場合があります。リフレクターは元に戻してください。

片手をペーパー右側のロールの内側に入れてソケットをしっかりと持ち、側面の開いているところからもう片方の手を入れ、電球を取り外します(図③)。電球がソケットにしっかりと取り付けられていて抜けにくい場合は、ガラス・リフレクターの下に指を2本入れ、電球をそっと押し上げると取り外すことができます(図⑤)。

⚠ 重要

ガラス・リフレクターが破損した場合は取り替えてください。

＜クリーニング＞

⚠ 重要

シェードのお手入れには、必要に応じて軽い毛はたきや絵筆を使用してください。濡れた布やスポンジ等は絶対に使用しないでください。金属部分は乾いた布で拭いてください。

